

## 新年度にあたってのご挨拶

川上 憲人

東京大学精神衛生・看護学教室同窓会会長  
東京大学大学院医学系研究科 精神保健学・精神看護学分野教授

新緑の候となりました。同窓会の皆様にはお元気でご活躍でしょうか。恒例ですので、教室の動向をご紹介します。まず2018年には48編の原著論文が公表され、地域・職場の精神保健・精神看護の研究成果が着実に高インパクト誌に掲載されていますことをうれしくご報告いたします。教員だけでなく、院生も論文公表を頑張っています。

人事では、本年1月末で技術専門職員の中嶋美喜さんが退職されました。多年の教室への貢献に深く御礼を申し上げます。感謝状と寄せ書きを贈らせていただきました。退職後もさまざまに活動・活躍されるものとうかがっております。お元気で過ごされますように祈っています。3月末には学術支援職員の中川由美さんが退職されました。教員構成には変更はなく、教室は、教員6人、職員4人（短時間勤務含む）、特任研究員1人の体制です。

大学院では、石川華子さんが博士（医学）を、櫻谷あすかさん、三木貴子さんが博士（保健学）を授与されました。また、浅井裕美さん、江口のぞみさんが満期退学されました。櫻谷さんは東京女子医大の助教に、三木さんは国立国際医療研究センターの研究員に、江口さんは埼玉県立大学の准教授に就職されました。修士では山口雄大さんが公衆衛生学修士（専門職）を、駒瀬優さん、佐瀬満雄さん、杉野敦さん、日高結衣さんが修士（保健学）を授与され、それぞれに就職・進学されました。新年度には、公共健康医学専攻に1名、健康科学・看護学専攻修士課程に1名、同博士課程に5名（進学者、復学者を含む）が教室に参加しました。今年は卒論生7名の予定です。

私ことですが、6年間勤めました公共健康医学専攻長を3月末で退任し、副研究科長・副医学部長のみ継続しています。退職までのあと3年間、さらに教育と研究に、さまざまなチャレンジを楽しんでまいりたいと思います。本年度は7月6日（土）午後と同窓会を予定しております。過去およそ10年間に大学院を修了し、最近教授に着任された4名の方をお招きし、その初心や展望をうかがいたいと思います。多くの皆様にお目にかかれたいことを願っております。

## 平成30年度学位論文

### 博士論文

石川華子  
精神疾患患者の受診率の性差に関する国際比較研究

櫻谷あすか  
Effects of a job crafting intervention program on work engagement among Japanese employees: a randomized controlled trial

（日本人労働者を対象としたジョブ・クラフティング介入プログラムのワーク・エンゲイジメントに対する効果：無作為化比較試験）

三木貴子  
Longitudinal adherence to a dietary pattern derived by reduced rank regression (RRR) and risk of depressive symptoms in Japanese employee  
（縮小ランク回帰による日本人の食事パターン抽出と抑うつ症状発症に関する職域疫学研究）



### 修士論文

駒瀬 優  
Effects of a newly developed gratitude intervention program on work engagement among Japanese workers: a pre- and post-test study  
（日本人労働者において、新しく開発された感謝法プログラムがワーク・エンゲイジメントに及ぼす影響：前後比較試験）

佐瀬満雄  
薬物乱用防止教室における当事者講演活動に対する薬物依存症者の視点

杉野 敦  
精神科病棟における隔離・身体拘束を減らす取り組みの定着プロセス

日高結衣  
Effects of a transdiagnostic preventive intervention on anxiety and depression among workers in Japan: a pre-and post-test study  
（日本の労働者における疾患横断予防介入プログラムの不安と抑うつに対する効果：前後比較試験）

山口雄大  
ストレスチェック受検時の労働者の回答の信憑性とこれに関連する要因

## 新入生からのご挨拶

### 大学院博士課程

小竹理紗（健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）

精神看護学分野博士課程へ復学しました小竹理紗と申します。修士課程を修了後、3年間島根県浜田市の西川病院で精神科看護師として学ばせていただきました。久々に東京へ戻り、過疎地域との違いをこれでもかと感じております。精神障害を抱え、地域で暮らしている方への支援に関心があり、臨床で得た学びを研究でどう活かせるのか試行錯誤しております。3年間の学びを無駄にしないよう、精進して参ります。ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

野沢恭介（健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）

精神看護学分野博士課程1年の野沢恭介と申します。私は大学卒業後、精神科の病棟看護師として勤務致しました。その後、本学老年看護学教室の修士課程に在籍し、修了後に一般科看護師、行政保健師を経て、この度こちらでお世話になることとなりました。研究からしばらく離れていたため、至らぬ点も多いですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

森田康子（健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）

こんにちは、森田と申します。当研究室の修士卒業後1年の休学から戻り、精神看護学分野の博士課程1年に復学いたしました。看護師として内科病棟に勤務後、中高の養護教諭を経て精神科看護師に辿りつき、その奥深さや守備の広さに魅了されています。精神的な困難との付き合い方についてや、大切な暮らしを大切にしながら暮らせることをイメージしながら、研究と精神看護を学んでいきたいです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 大学院修士課程

浅岡紘季（健康科学・看護学専攻 精神看護学分野）

精神看護学分野修士課程に入学いたしました、浅岡紘季と申します。大学を卒業後2年間大学病院にて臨床経験を経て、今年度より大学院にてお世話になることとなりました。精神健康に困難を有する人のリカバリー、看護師等の職場のメンタルヘルスに興味を持っております。未熟者ですが多くの方々のお役に立てるように精一杯努力する所存です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

旭紘史（公共健康医学専攻 精神保健学分野）

3月に東京大学医学部健康総合科学科を卒業し、もう少し研究をしてみたいという思いからそのまま進学致しました。学部での卒業論文の執筆にあたり当教室でお世話になり、修士でも引き続き所属させて頂くことになりました。関心領域は、卒業論文でも扱った「思春期の主体価値形成とライフコースへの影響」をはじめとする思春期のメンタルヘルスです。また自殺対策についても興味があります。謙虚かつ貪欲に学びたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

## 令和元年度 東京大学精神衛生・看護学教室同窓会

開催日時：令和元年7月6日（土）

**1.講演会** 15:00-17:40 会場：東京大学医学部3号館N101教室  
教室院生の研究発表、パネルセッション：「若手」教授からこれからの抱負を聴く  
※過去約10年間に修了した院生でこの1年間に教授に着任された方をお招きして、今後の教育、研究、社会への貢献について抱負をお聴きしたいと思っております。  
先輩諸氏からも温かい応援をお願いいたします。

**2.総会・懇親会** 18:00-20:00 会場：教育研究棟13F カポペリカーノ 会費：5,000円  
(当日、現金にてお支払いください。)

同封 ①同窓会費納入のための振替用紙 ②同窓会出欠席用葉書（6月18日までにお返事下さい）

次回より、同窓会名簿、およびニュースレターの配布を原則PDFにて行う予定です。  
名簿記載事項に変更がある方はメールでご連絡下さい。

#### 同窓会費納入のお願い

規約に基づきまして、会費納入をお願いします。

同窓会費 年2,000円

口座名称 東京大学精神衛生学教室同窓会

口座番号 00190-9-318489

(同封の振込用紙をご利用下さい)

他金融機関から振込口座番号は

0一九店(019) 当座 0318489 になります

#### 東京大学精神衛生・看護学教室同窓会 News Letter

お問い合わせは下記までお願いします

精神保健学分野・精神看護学分野 担当 西・宮本

教室 HP <http://plaza.umin.ac.jp/heart/>

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL 03-5841-3584 FAX 03-5841-3392

mhpnd@m.u-tokyo.ac.jp (同窓会)